

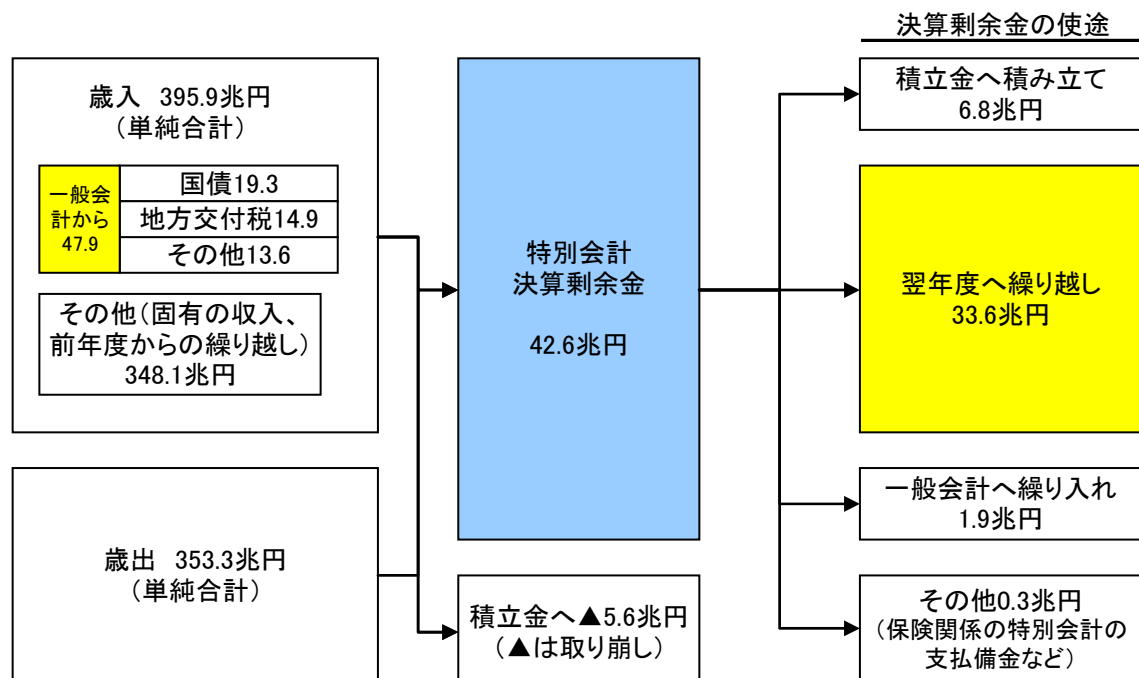
特別会計には、一般会計からの繰り入れもあり、2007年度の繰入額は47.9兆円であった（図2-3-7）。

特別会計では剰余金も発生している。2007年度決算では、特別会計の歳入は395.9兆円（会計間の重複控除前の単純合計）、歳出は353.3兆円（同じく単純合計）であり、剰余金は42.6兆円であった（図2-3-8）。一般会計からの繰入額に相当する大きさである。また毎年の決算では、予算を大きく上回る剰余金が出ている。

2007年度決算では、剰余金のうち、6.8兆円が積立金に積み立てられ、33.6兆円が会計内で翌年度に繰り越され、1.9兆円が一般会計に繰り入れられる。剰余金が出ない仕組みにしなければ、積立金は今後も増加する。

社会保障費をはじめ一般会計の歳出は厳しく抑制されている。特別会計については、2009年度当初予算等で、積立金が活用されることになったが、さらに会計の透明性を高めること、決算を重視して剰余金が発生しづらい仕組みにすること、そして、剰余金が出た場合には、原則一般会計等へ繰り戻すといった見直しが求められる。

図2-3-7 特別会計のお金の流れ－2007年度決算（推計）－



※注)歳入・歳出は、会計間・勘定間の合計を含む単純合計。四捨五入差のため内訳と合計が合わない箇所がある。  
\*出所:国の決算書から作成